

平成二十九年 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国語 (二次試験)

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

次の①～⑮の各文中の傍線部のカタカナを漢字にせよ。

- ① 議論が本題からイツダツする。
- ② 登録をマツシヨウする。
- ③ 交渉はケツレツした。
- ④ 物資がいよいよキユウボウした。
- ⑤ 郷土のためにジンリヨクする。
- ⑥ 部屋をソウジする。
- ⑦ 小説の一部をバススイする。
- ⑧ 兄弟でキントウに分ける。
- ⑨ 病人をカイホウする。
- ⑩ 朽ちかけた鉄骨をテッキヨする。
- ⑪ 市内をジュンカンするバス。
- ⑫ 開会式にノゾむ。
- ⑬ 返事をサイソクする。
- ⑭ 動物をギャクタイしてはいけない。
- ⑮ スンカを惜しんで勉強する。

二

次の熟語の意味として正しいものをそれぞれの選択肢から一つずつ選び、記号で答えよ。

- ① 圧巻
 - ア 非常に分厚い書物
 - ウ 物事の中で最も優れた部分
 - イ たいへん貴重な巻物
- ② 割愛
 - ア 大事な物に傷をつけること
 - ウ 惜しみながら捨てること
 - イ 愛情を分け与えること
- ③ 濫用
 - ア むやみに用いること
 - ウ 注意して用いること
 - イ 迷いながら用いること
- ④ 真骨頂
 - ア 物事を中心になるもの
 - ウ 人間が求める価値があるもの
 - イ そのもの本来の真実の姿
- ⑤ 温故知新
 - ア 古い物もみがけば新しくなること
 - イ 古いことから新しい知識を得ること
 - ウ 古い考えを捨て、知識を革新すること

三

次の慣用句の□にあてはまる語をA群の中から選んで記号で答えよ。また、B群とC群の語を結びつけて、その慣用句に意味が最も近い四字熟語を作り、例にならって番号で答えよ。

例 手前□。(A群)ウ (B群)② (C群)③

① □をかむ思い。

② □を出す。

③ 血も□もない。

④ □ひとつ動かさない。

⑤ □をそろえる。

⑥ □にもとまらぬ早さ。

⑦ □の背くらべ。

【A群】 ア 涙 イ 口 ウ 味噌 エ 砂 オ 手

カ 顎 キ 目 ク 団栗 ケ 眉

【B群】 ① 冷酷 ② 我田 ③ 疲労 ④ 無味 ⑤ 泰然

⑥ 異口 ⑦ 大同 ⑧ 電光

【C群】 ① 乾燥 ② 同音 ③ 引水 ④ 困憊 ⑤ 無残

⑥ 小異 ⑦ 石火 ⑧ 自若

四

次の語句の意味として正しいものをあとの選択肢から選び、記号で答えよ。

① パロディ

② 揶揄

③ ステレオタイプ

④ 矜持

ア より次元の高い状態へと高められること

イ あちこちに噂してまわること

ウ あざむき、だますこと

エ 自分に誇りを持つこと

オ 既存のものをもじり、滑稽にすること

カ 狭苦しく窮屈なこと

キ どこかで聞いたような決まり切った言い方

ク 馬鹿にしてからかうこと

五

次の古典作品を古い順に並べたものとして正しいものを選び、記号で答えよ。

- ア 源氏物語 ↓ 竹取物語 ↓ 平家物語 ↓ 徒然草
イ 源氏物語 ↓ 徒然草 ↓ 竹取物語 ↓ 平家物語
ウ 徒然草 ↓ 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ 平家物語
エ 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ 平家物語 ↓ 徒然草
オ 竹取物語 ↓ 源氏物語 ↓ 徒然草 ↓ 平家物語

六

次の文章を読んであとの問いに答えよ。

【1】日本では虹といえ、七色と決まっている。だが、本当に虹を詳しく、ⁱカンサツして、虹が七色からできていることを確かめた人はなさそうである。太陽の白色光をプリズムで分解した時に、赤から紫と移り変わって行く色合を注意深く眺めれば、七色はあるなと気がつくことだろう。ところが虹の場合には、よほど注意しても、七色あるようには見えないのが普通である。

【2】虹の色が、大気中の水蒸気による ⁱⁱクツセツを ⁱⁱⁱ媒介にして作りだされることを考えれば、太陽の光と同じ数の色をもつことは、当然推し測れることである。私もアメリカに長く ^{iv}タイザイするようになる以前には、「虹は七色」として、全然 ^①この「事実」を怪しんでもみなかった。

【3】**A**、アメリカタイザイ中のある日、友人から虹の色に関する質問の電話がかかって来てから、私のこの事実への ^②自信はぐらついてしまった。電話の内容は、「日本語学校の子供の宿題に、虹の色は七つだが、それは何と何か、調べてくるようにのが出たが、いろいろな資料で調べても六つしかないけれど、解りませんか」というものであった。友人への解答は、私にはすらすらとできたわけだが、何色が脱けているのが気になった。たずねると、アメリカの本にでている虹の色は、赤、橙、黄、緑、青、紫となっていて、藍の色が欠けているのであった。

【4】藍色がないということは、アメリカ人たちが、この色を虹の

中に識別していないことを示している。ということは、^③彼らには、この色が事実上見えないということである。日本人が藍色に特別の感情をもっているらしいこと、および、緑を青と違って全然怪しむふうのない日本の風土からみて、私たちが藍色を自然の風物の中に強く意識しているのだなど、感じさせられた。緑が青や藍のような vシキチヨウを含んでみえる事実が、私たちの周囲の大気中に、非常に多くの水蒸気が含まれていることと関係しているらしいことからみて、アメリカ大陸では、空気がよく乾いているために、人々に藍色を意識させないのではないかと思われた。

【5】色が見える、見えないなどということは、大したことではないのかもしれないが、私たちがいろいろな事物について認識するのは、大部分が眼、特に「心の眼」を通してである。 **B**、私たちが異文化のことを考える場合には、こうした相違を十分理解していなければ、^④とんでもない誤解を生む可能性がでてくる。

(桜井邦朋『考え方』の風土)

問一 傍線部 i v のカタカナは漢字にし、漢字は読みをひらがなで答えよ。

問二 文中の **A・B** に入る適当な語をそれぞれあとの選択肢から選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を二度以上用いてはいかない。

ア だから イ つまり ウ したがって
エ なぜなら オ ところが

問三 傍線部①「この『事実』」とは何か。あとの選択肢から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

ア 虹は七色あるようには見えないこと。
イ 虹は太陽の光と同じ数の色をもつこと。
ウ 虹が七色からできていること。
エ 虹はアメリカでは七色ではないこと。

問四 傍線部②「自信はぐらついてしまった」とあるが、それはなぜか。あとの選択肢から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

ア アメリカでは虹の色は六つというのが常識となっているようだったから。

イ アメリカ人は虹の色をほとんど意識しないから。

ウ 虹を調べてみると、虹は六色であると資料にかいてあったから。

エ アメリカには藍色という色が存在しないから。

問七 本文全体を内容でまとめるとどのような構成になるか。あとの選択肢から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

ア

1

 |

2・3・4

 |

5

イ

1・2・3

 |

4

 |

5

ウ

1・2

 |

3

 |

4・5

エ

1・2

 |

3・4

 |

5

問五 傍線部③とあるが、それはなぜか。その理由を、解答欄の「から」に続くように、本文中から十九字で抜き出せ。

問六 傍線部④「とんでもない誤解」をしないようにするためにはどのようなことが必要か。五十字程度で説明せよ。

